

木下けんじ事務所 〒239-0822 横須賀市浦賀5-8-5-1102

TEL(FAX)046-841-6326 携帯電話:090-5303-0828 URL <http://k-kinoshita.jp/>



- 所属常任委員会
- ・議会運営委員会
- ・教育経済常任委員会
- ・廃棄物処理等特別委員会
- ・議会基本条例検討委員会

○平成22年第1回定例会

2月19日(金)から3月26日(金)の間、第1回定例会が開催されました。主として、平成22年度予算案及び平成21年度補正予算案を審議する定例会でした。

1 平成22年度予算

3月26日の本会議において、平成22年度予算案は修正のうえ可決成立しました。ここでは、平成22年度予算の概要について紹介します。

(1) 予算全般

景気の低迷により、税金など歳入が減少する一方、歳出では扶助費などの社会保障費が増加しています。このため、一般財源では対前年度比マイナス5%のシーリング枠を設定して、予算が編成されています。一般会計の予算規模は、前年度比5.8%増と大きくなっていますが、こども手当相当額約45億円を除くと、実質前年度比2.4%増です。また、市税は景気低迷の影響を受け、約33億円の大減となつています。このような不況の中においても、財政の後年度負担の軽減を図るため、通常債の借入額が抑制(新規債発行比率74.1%)されており、努力のあとがうかがえます。

(注: 新規債発行比率: 各年度の元金償還額(通常債のみ)に対する新規発行通常債の比率)

会計名	予算額	対前年度伸率	備考
一般会計	1397億円	5.8% (実質2.4%)	こども手当相当額約45億円
特別会計	1105億円	19.6%	国民保険、介護保険等
企業会計	423億円	△24.6%	上下水道、病院等
合計	2925億円	4.3%	

2 予算案の修正

ここでは、予算案の修正部分について述べます。市議会は、22年度当初予算案を1258万5千円減額修正しました。

歳入	基金繰入金	1258万5千円減額
歳出	総務管理費	1263万5千円減額
	保険衛生費	5万円増額

歳出における増減修正事項の細部は、次のとおりです。

減額 1263万5千円	①顔写真付き名札導入に関する経費 ②財政基本計画策定事業(全戸配布経費) ③借金時計ホームページ作成経費 ④防犯パトロール車整備事業(公用車の白黒ツートンカラー化経費)
増額 5万円	救急医療センター調査費

減額事項は、いずれも吉田市長の肝いりで、予算案に新規事業として盛り込まれたものです。しかし、いずれも、合理性なし、必要性不十分等の理由により、削除が妥当と判断され、議会として修正したものです。(裏面へ続く)



救急医療センター

(2) 歳入における自衛隊・米軍関係交付金等交付金等の総額は、下表のとおり、約34億円です。一般会計歳入の約2.4%を占めています。これらの交付金は、現状のような景気後退局面において、確実な歳入として大きな意味があると思います。

交付金種別	予算額	対前年度比率
国有提供施設等所在市町村助成交付金	21.4億円	98.6%
特定防衛施設周辺整備調整交付金	3.4億円	98.6%
再編交付金	9.2億円	104.7%
合計	34.0億円	——

木下けんじへの期待・要望・ご意見などをお寄せ下さい。返信FAX 046-841-6326

氏名

連絡先

また、救急医療センターは、移転建て替え又は既存改築の議論があるなかで、その調査費を予算化することが適当と判断され、追加されたものです。横須賀市における当初予算案の修正可決は、50数年なかったとのことです。

### 3 「永住外国人に対する地方参政権付与に反対する意見書」の可決

3月26日の本会議において、政府に対する「永住外国人に対する地方参政権付与に反対する意見書」を、賛成多数で可決しました。(賛成22:自民、新政会、ニューウイング、無所属議員3名、反対19:公明、研政、共産、無所属議員2名)

私どもはもとより、我が国に在住する外国人を差別するつもりはありませんし、地方行政として外国住民の考えや要望を吸収する仕組み作り工夫が必要とは思っております。しかし、永住外国人への地方参政権付与については、我が国の国柄・民主主義の根幹にかかわる

重大な問題であると考えます。

反対理由の第一は、日本国民以外の者が日本の政治に参加介入することは、日本国憲法第5条及び第93条に違反するという事です。反対理由の第二は、地方政治といえども、政治はその国の国民が参加して決定すべき事柄であるからです。国家と国民は一体のものであり、国民がその国の政治を行うことにより、国民は国家とその運命を共にするということが国民国家・近代国家の原則です。もし、外国籍の者が参政権を取得し政治に参加したいのであれば、その前に帰化して日本国籍を取得して、国民としての義務と権利を享受すべきと考えます。

仮に、永住外国人に参政権を与えるというのであれば、憲法改正を含めた、我が国の国柄を再構築する検討が必要です。現状において拙速な結論を出すことに強く反対します。政府与党に対し、国民の幅広い議論を喚起し、地方の意見を聞くことを強く要求する次第です。(この意見書は自民党市議団主導で可決しました)

### ご存じですか？

#### ○第55回馬門山海軍墓地墓前祭

5月15日、馬門山海軍墓地において墓前祭が執り行われました。

馬門山墓地は、明治15年(1882年)に海軍墓地として制定されましたが、大東亜戦争後昭和26年に横須賀市に譲与され、今日に至っています。墓地には、明治15年から大東亜戦争までの戦死者、殉職者の英魂が弔われています。毎年5月に、地元の方々の主催で、海上自衛隊の全面的な支援の下、厳粛な墓前祭が行われています。国のために一命を奉げられた戦没者・殉職者の慰霊は、現代に生きる者の責務であると思います。

この海軍墓地は、現在は市営墓地の位置づけですが、大津地区の皆様のおかげできれいに維持管理されています。(海軍墓地の詳細は、横須賀水交会のホームページ [http://y-suikokai.daa.jp/topics/topix\\_main.html](http://y-suikokai.daa.jp/topics/topix_main.html) をご参照下さい)



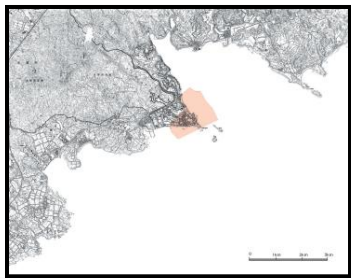
#### ○逸見岸壁の完成・「しらせ」入港

4月15日、新岸壁「逸見岸壁」の完成披露が行われました。あわせて、砕氷艦「しらせ」が横須賀に帰港しました。

新岸壁である逸見岸壁は、海上自衛隊最大級の護衛艦「ひゅうが」の横付けが可能です。また、他の護衛艦であれば2隻の係留が可能です。多様化する任務の後方支援に、そして災害対応にも必要不可欠な施設です。逸見岸壁の完成をお慶びします。また、2代目「しらせ」は、初めての南極任務を無事終え、横須賀に帰りました。任務の完遂、ご苦労様でした。



逸見岸壁と「しらせ」



普天間代替施設: 辺野古

#### ○普天間問題

6月2日鳩山首相と小沢民主党幹事長が辞任を表明しました。

普天間移設問題は5月末決着どころか、迷走を続け、結局現行計画であるキャンプ・シュワブ(辺野古)に戻りました。鳩山連立政権が辿った迷走の軌跡が残ったものは、①日米同盟にヒビを入れ日米関係を冷え込ませた②沖縄県民に対し「国外、県外」と過度の期待を膨らませたが、残ったのは反政府感情のみ③社民党の政権離脱を招き、安全保障に政争を介入させた・・・です。鳩山連立内閣のアキレス腱が安全保障政策にあることは、総選挙の時から言われていたことで、当然の結果といえます。しかし、北朝鮮による魚雷攻撃事案に見られるように、東アジア情勢が不安定化する中、民主党政権は、わが国の安全保障を危うくしています。7月には参院選が予定されています。今後とも、民主党に政権を任せろわけにはいきません。

#### 木下けんじの経歴

昭和25年生まれ  
夏島小、追浜中、県立横須賀高校卒業  
昭和48年防衛大卒業  
以後海上自衛隊勤務 潜水艦艦長等  
平成18年海上自衛隊定年退官

現在  
横須賀海洋少年団 顧問  
横須賀水交会 理事  
隊友会横須賀支部 相談役

ホームページを開設しました。  
御来訪をお待ちしています。  
URL <http://k-kinoshita.jp/>

### 連絡先

#### 木下けんじ 事務所

〒239-0822横須賀市浦賀5-8-5-1102 TEL (FAX) : 046-841-6326  
URL <http://k-kinoshita.jp/> 携帯電話: 090-5303-0828